



日本遺産 「鮭の聖地」の物語 ～ストーリーの特徴と歩き方～

北海道標津町教育委員会生涯学習課長
小野哲也

1. 「鮭の聖地」ストーリーの特徴と概要

ストーリーの特徴 1

タイトルの「鮭の聖地」というフレーズは
アイヌの伝承に由来するもの

鮭は知床の沖にいるカムイ(神様) が
袋の中の魚の骨や鱗を海にばらまくと
それがみるみる鮭の姿になって
人々の住む村のある川にのぼってくる

ストーリーの特徴 2

北海道東部、**根室海峡沿岸**に位置する

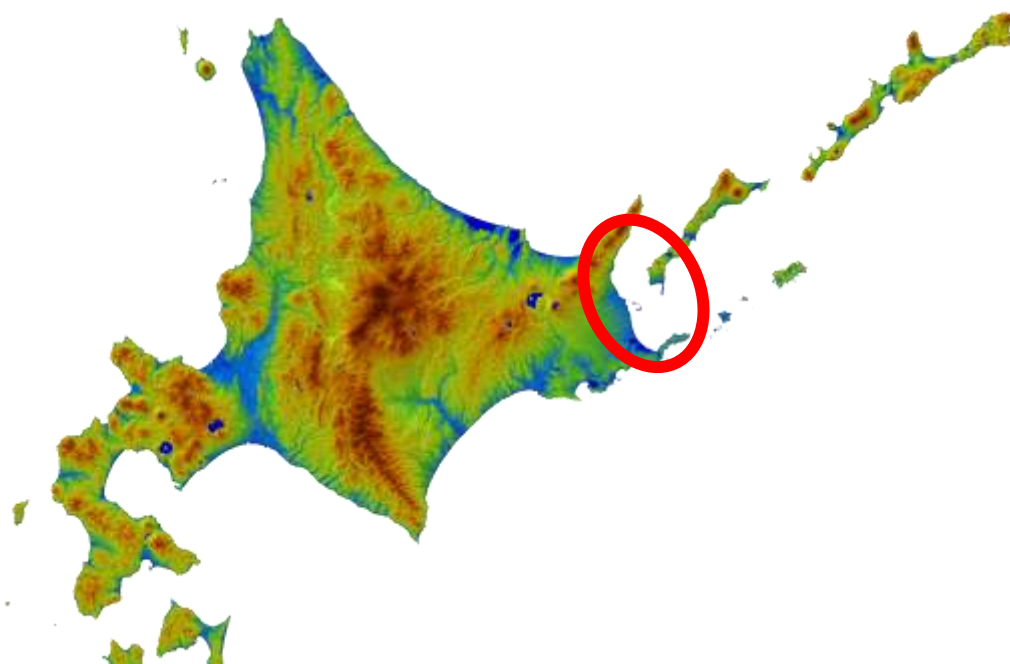
1市3町にまつわるストーリー

北海道標津町

根室市

別海町

羅臼町



北方領土隣接地域の日本遺産

ストーリーの軸は鮭を求める人々のつながり

はじまりは「根室海峡」

やがて根室港誕生と北前船来航で「日本全国」へ

そして殖産興業の缶詰技術導入により「世界」へ

根室海峡の鮭をきっかけとする人々の交流は
時代と共に広がりを見せていく

「鮭の聖地」の物語

～根室海峡一万年の道程～

鮭の聖地ストーリーの構造

世界的価値を有する
自然環境

知床半島

野付半島

春国岱

シマフクロウ

オオワシの群れ

羅臼沖の鯨類

縄文から近代まで
一万年の歴史文化

縄文文化

オホーツク文化

アイヌ文化

江戸時代北方交流

明治の水産史

大正以降の開拓史

川を通じ海と大地の
栄養循環を担う

サケ

あらゆる時代の
人の営みに関わる

エビ

カニ

ホタテ

コンブ


サンマ

ミルク

サケ漁の盛衰と表裏の関係

etc..

2. ストーリーを体感するコンテンツの一例




縄文～古代
(標津町)

標津町内を流れる
伊茶仁川・ポ一川流域に
形成された史跡標津遺跡群

現在の地表面から窪みで観察できる 竪穴住居跡群



An aerial photograph showing a lush green landscape. A dark, winding river flows through a vast, flat green area, likely a wetland or bog. The surrounding area is covered in dense, vibrant green forest. In the far distance, a range of mountains is visible under a clear blue sky. The overall scene is a natural, undisturbed environment.

**大規模竪穴群が湿原や川、森など
周辺の自然環境と共に一体で保存されている**

原始河川ポーターカヌー




ヒグマなど知床周辺の動物を象った
古代オホーツク人の造形品



古代(羅臼町)

古代北方文化に触れた上での 知床クルーズ





**日本百名城にも登録されている
根室半島チャシ跡群**

中世（根室市）

地域ガイドによるチャシツアー



国指定重要文化財 釧路市立チャシ遺跡
ノツカマフ1・2号チャシ跡

所在地 函館市 1993年4月29日指定
国指定重要文化財 釧路市立チャシ遺跡

ノツカマフの歴史

この遺跡は、ノツカマフのチャシ跡として知られており、1993年に国指定重要文化財に指定されました。1994年には、釧路大学と地元住民が共同で発掘調査を行いました。その結果、ノツカマフの歴史が明らかになりました。

ノツカマフの歴史

ノツカマフの歴史は、1993年に国指定重要文化財に指定されたことからはじまります。この遺跡は、ノツカマフの歴史を伝える重要な場所です。

ノツカマフの歴史

ノツカマフの歴史は、1993年に国指定重要文化財に指定されたことからはじまります。この遺跡は、ノツカマフの歴史を伝える重要な場所です。

近世 (根室市)



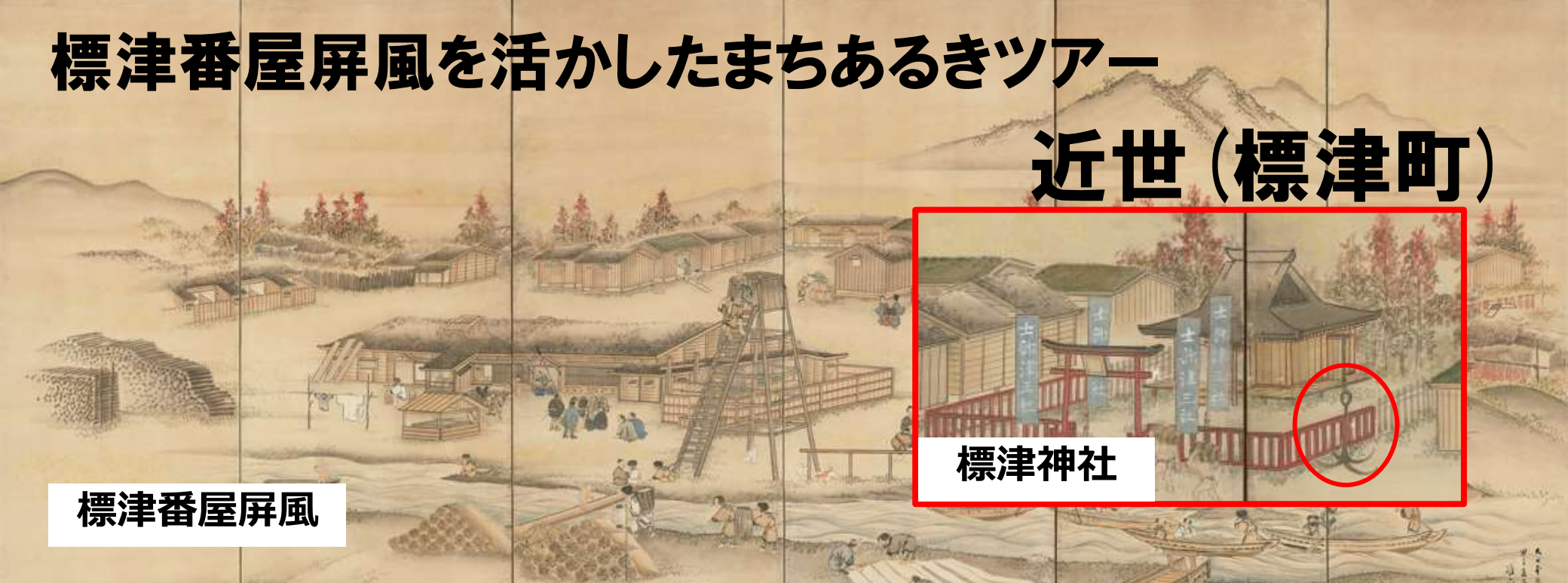
**司馬遼太郎の小説『菜の花の沖』の主人公
高田屋嘉兵衛が創祀した根室金刀比羅神社**



宮司による解説

標津番屋屏風を活かしたまちあるきツアー

近世（標津町）



標津番屋屏風

標津神社



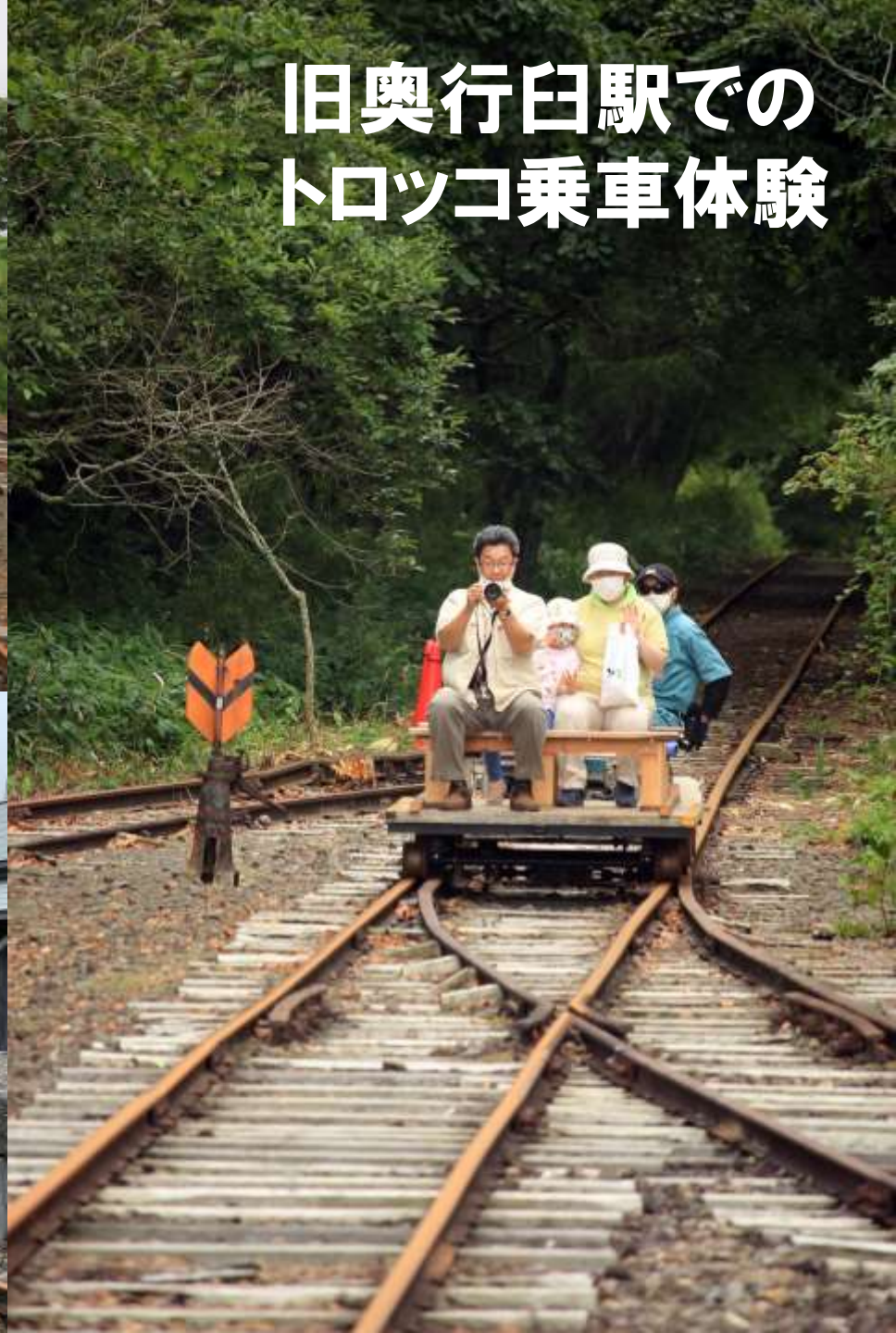
神社を起点とした
ガイドプログラム



鮭みくじ



旧奥行臼駅での トロッコ乗車体験



近代 (別海町)



一万年の歴史の上に培われた根室地域の味覚





**世界的価値を有する自然の中で培われた
根室海峡沿岸の歴史文化にぜひご注目ください！**



お問い合わせ
鮭の聖地メナシネットワーク
観光担当：南知床標津町観光協会
TEL:0153-85-7226
MAIL: work@visitshibetsu.com